

「地域の情報拠点」として ヨコハマライブラリーカフェが果たす役割



横浜市中央図書館（神奈川県横浜市） <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/library/>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	横浜市西区老松町1
電話番号	045-262-0050
人口（図書館が所在する市町村）	370万人
職員数（うち有資格者数）	93人（69人）
蔵書数	1,636,233冊
登録者数	132,063人
年間貸出冊数（H24）	1,063,254冊

目的・趣旨

- ・人から学び、自分で学ぶ、知的情報共有の場として、学術研究と市民を結ぶ。
- ・最先端の研究成果や活動についての講演や、資料の紹介等を通じて課題解決支援を行う。

取組概要

テーマを選定し、その分野で活躍する研究者・専門家をゲストに招く。講義及び質疑応答、グループディスカッションを行い、関連資料の展示やブックリストを配布する。

- 1 最先端の研究を気軽に話し合うことができる場の提供
市民の関心の高いテーマや社会的なテーマを専門家がやさしく解説する。
- 2 カフェ形式での講義スタイル
カフェコーナーを設置し、飲料を提供している。
- 3 他企画と複合的に展開
同じテーマで企画展示を同時開催する場合もある。相互に多様な資料や情報を提供している。



展示「アフリカと出会う 300冊
—TICAD Vに向けて—

特徴

- 1 市内研究機関及び他部署との連携
 - ①市内の機関と連携することで、教授や研究者を無償で招き、質の高い講義を実施。
 - ②他部署と連携し、市の施策に関するテーマで開催することで、市民の意見や感想を行政運営に還元。
 - ③ゲストや連携先の取組をPRする。



イベントの様子

【平成25年度の主な連携先】

独立行政法人理化学研究所横浜事業所 / 日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館 / 東洋英和女学院大学 / 横浜市温暖化対策統括本部ヨコハマ・エコ・スクールなど

- 2 協賛（サポート）企業による飲料提供
協賛（サポート）企業を公募し、市内企業による飲料提供を受けている。企業や商品の広告はチラシやポスターに掲載しており、イベントの告知とともにPRしている。



ポスターでの商品PR



飲料を提供している様子

取組の成果と今後について

ヨコハマライブラリーカフェの取組は平成22年度から平成26年3月まで計33回実施している（サイエンスカフェとして事業開始）。アンケート結果によると来館頻度が少ない利用者の参加が多く、図書館へ来館するきっかけとなっている。今後は幅広い層の参加を増やすために、形式や内容を固定化せず、充実・発展させていきたい。